

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 13 日 (2020.2.13)

【公開番号】特開 2019-217016 (P2019-217016A)

【公開日】令和 1 年 12 月 26 日 (2019.12.26)

【年通号数】公開・登録公報 2019-052

【出願番号】特願 2018-116806 (P2018-116806)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 18 日 (2019.12.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
表示を行う表示手段と、
前記表示手段に画像を表示する制御を行う表示制御手段と、を備え、
前記表示制御手段は、
__前記表示手段に、遊技の進行に関する画像として第 1 画像と第 2 画像とを表示可能であり、
__前記表示手段に、演出用画像として、所定画像と擬似役物画像とを表示可能であり、
__前記表示手段における優先順位が、前記所定画像より第 1 画像の方が高く、前記第 1 画像より前記擬似役物画像の方が高く、前記擬似役物画像より前記第 2 画像の方が高くなるようにそれらの画像を表示可能であり、
__前記擬似役物画像を、前記第 1 画像上を通過させるとともに、前記第 2 画像上は通過しないように表示可能であり、
さらに、
__遊技者にとっての有利度が異なる複数の設定値のうちのいずれかの設定値に設定可能な設定手段と、
__設定された設定値に応じて異なる割合により前記有利状態に制御することを決定可能な決定手段と、
__いずれの設定値に設定されたかを特定可能な設定値情報を出力可能な情報出力手段と、
__前記情報出力手段から出力された設定値情報にもとづいて、示唆演出を実行可能な演出実行手段と、
__可変表示を実行可能な可変表示実行手段と、を備え、
__前記演出実行手段は、前記情報出力手段から出力された設定値情報が正常でない場合、前記複数の設定値のうち遊技者にとって有利度が低い所定の設定値に対応した割合により前記示唆演出を実行可能であり、
__前記可変表示実行手段は、前記示唆演出が実行されるときと前記示唆演出が実行されないときとで共通に可変表示を実行可能である
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(1) 上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、
遊技を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1）であって、

表示を行う表示手段（例えば画像表示装置5）と、

前記表示手段に画像を表示する制御を行う表示制御手段（例えば演出制御用CPU120）と、を備え、

前記表示制御手段は、

前記表示手段に、遊技の進行に関する画像として第1画像（例えば保留表示、アクティブ表示、飾り図柄等）と第2画像（例えば第4図柄、小図柄等）とを表示可能であり、

前記表示手段に、演出用画像として、所定画像（例えば背景画像96AK014、予告演出やリーチ演出のキャラクタ画像、飾り図柄、対応表示領域96AK010等）と擬似役物画像（例えば擬似役物画像96AK020）とを表示可能であり、

前記表示手段における優先順位が、前記所定画像より第1画像の方が高く、前記第1画像より前記擬似役物画像の方が高く、前記擬似役物画像より前記第2画像の方が高くなるようにそれらの画像を表示可能であり、

前記擬似役物画像を、前記第1画像上を通過させるとともに、前記第2画像上は通過しないように表示可能であり（例えば図21-3）、

さらに、

遊技者にとっての有利度が異なる複数の設定値のうちのいずれかの設定値に設定可能な設定手段と、

設定された設定値に応じて異なる割合により前記有利状態に制御することを決定可能な決定手段と、

いずれの設定値に設定されたかを特定可能な設定値情報を出力可能な情報出力手段と、

前記情報出力手段から出力された設定値情報にもとづいて、示唆演出を実行可能な演出実行手段と、

可変表示を実行可能な可変表示実行手段と、を備え、

前記演出実行手段は、前記情報出力手段から出力された設定値情報が正常でない場合、前記複数の設定値のうち遊技者にとって有利度が低い所定の設定値に対応した割合により前記示唆演出を実行可能であり、

前記可変表示実行手段は、前記示唆演出が実行されるときと前記示唆演出が実行されないときとで共通に可変表示を実行可能である

ことを特徴とする。

このような構成によれば、演出効果を高めることができる。